

典礼のしおり

O Domingo N.º 34

PANIB 発行 18-08-2024

年間第二十主日 聖母被昇天祭

主において喜びましょう。主がマリアにおいて、実現された偉大な業、ご自分の民全体の為になお継続される偉大な業を觀想し、主を称えましょう。この祭儀において、マリアの二つの特徴、即ち他者への奉仕と、「神への愛を強調しています。奉獻生活を望んでいる人々、奉獻修道者、在俗奉獻者のために心を一つにして、この聖母被昇天を祝いましょう。

入祭唱

偉大なしるしが天に現れた。一人の女性が太陽の衣を着、月の上に立ち、頭には、十二の星をちりばめた冠をかぶっていた。

栄光の賛歌

集会祈願

全能永遠の神よ、あなたは、御ひとり子の母、汚れの

ないおとめマリアを、からだも魂も、ともに天の栄光に上げられました。信じる民がいつも天の国を求め、聖母とともに永遠の喜びに入ることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

※ 朗読の解説

神がマリアのために行ったすばらしいこと、天に昇らせ私達を父の元で取り次ぐマリアを賛美いたしましょう。彼女は救いの絶頂に達し、いつの日か私たちが同伴することを待ち望んでいます。イエズスのご計画に「はい」と答えたマリアを模範とする聖職者、修道者たちと共に聖体祭儀を捧げましょう。

ヨハネの黙示(黙示録 11・19a、12・1・3・6、10)

天にある神の神殿が開かれて、その神殿の中にある契約の箱が見え「た。」

また、天に大きなしるしが現れた。一人の女が身太陽をまとい、月を足の下にし、頭には十二の星の冠をかぶっていた。女は身ごもっていたが、子を産む痛みと苦しみのため叫んでいた。また、もう一つのしる

しが天に現れた。見よ、火のように赤い大きな竜である。これには七つの頭と十本の角があつて、その頭に七つの冠をかぶっていた。竜の尾は、天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げつけた。そして、竜は子を産もうとしている女の前に立ちほだかり、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖ですべての国民を治めることになつていた。子は神のもとへ、その玉座へ引き上げられた。女は荒野へ逃げ込んだ。そこには、神の用意された場所があつた。

わたしは、天で大きな声が次のように言うのを、聞いた。「今や、我々の神の救いと力と支配が現れた。神のメシアの権威が現れた。」

答唱詩編 ○典 3602 04 (詩編45・34、11+12)
先・全・神のいつくしみをとこしえにうたい、
主のまことを代々に告げよう。

あなたは人の子のうちたぐいなく美しく、
気品はあなたの口もとにただよう。

神はとこしえにあなたを祝福される。
あなたは光と輝きを身にまとう。
主のまことを代々に告げよう。
全・神のいつくしみをとこしえにうたい、
主のまことを代々に告げよう。

「娘よ、聞け、耳を傾けよ、
おまえの民と父母の家を忘れよ。
おまえの麗しさを慕う王を主とあがめ、
心を尽くして仕えよ。」
全・神のいつくしみをとこしえにうたい、
主のまことを代々に告げよう。

使徒パウロのコリントの教会への手紙

(一コリント15・20―27)

〔皆さん、〕キリストは死者の中から復活し、眠りに
ついた人たちの初穂となられました。死が一人の人に
よつて来たのだから、死者の復活も一人の人によつて
来るのです。つまり、アダムによつてすべての人が死ぬ
ことになつたように、キリストによつてすべての人が
生かされることになるのです。ただ、一人一人にそれ

ぞれ順序じゆんじよがあります。最初にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属ぞくしている人たち、次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配しはい、すべての権威けんゐや勢力せきりきよくを滅ぼし、父である神かみに国くにを引き渡わたされます。キリストはすべての敵てきを御自分の足あしの下したに置くまで、国くにを支配しはいされることになつてゐるからです。最後の敵さいごてきとして、死しが滅ぼされます。「神かみは、すべてをその足あしの下したに服従ふくじゆうさせた」からです。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。
マリアは天てんに上げられた。天使てんしの群むれは喜よろこびに輝かがやく。
アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

ルカによる福音（ルカ 1・39・56）

そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行つた。そして、ザカリアの家に入つてエリサベトに挨拶あいさつした。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内たいたいの子がおどつた。エリサベトは聖靈せいれいに満たされて、声高らかに言つた。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内たいたいのお子さまも祝福されてい

ます。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういふわけでしょう。あなたの挨拶あいさつのお声をわたしが耳にしたとき、胎内たいたいの子は喜んでおどりました。主がおつしやつたことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしよう。」

そこで、マリアは言つた。

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも

目を留めてくださったからです。

今から後、いつの世の人も

わたしを幸いな者と言うでしょう、

力ある方が、

わたしに偉大なことをなさいましたから。

その御名みなは尊とうとく、

その隣あわれみは代々に限りなく、

主を畏おそれる者に及びます。

主はその腕うでで力ちからを振るひ、

思い上がる者を打ち散らし、

権力けんりよくある者をその座から引き降ろし、

身分の低い者を高く上げ、

飢えた人を良い物で満たし、
富める者を空腹のまま追い返されます。

その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、わたしたちの先祖におっしやつたとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」

マリアは、三か月ほどエリサベトのところに滞在してから、自分の家に帰った。

信仰宣言

共同祈願

司・栄光の聖母の援助を願いながら、私たちの祈願を神に捧げましょう。

全・聖母マリアよ、私達の願いを聞き入れてください。

1・聖母マリアをキリスト者の母としてお与えになった父なる神よ、教会が心身共に一致してシノダウの精神で歩むことが出来ますように。(全)

2・最も貧しい人や小さくされた人々、恵まれない人々の援助を優先する計画を、統治者が促進するように。

3・主よ、あなたの慈しみは全ての人に及びます。無関心や、傲慢、デジタル社会の攻撃的な悪の影響から人々を開放してください。(全)

4・イエスの御母である聖母の謙遜の徳を讃える主よ、

私たちが、その謙遜を倣い、貧しい人たちに奉仕することを学ぶことが出来ますように。(全)

5・聖母マリアに、勇氣と忠実さをお与えになった主よ、修道者たちに予言的で、喜びをもたらす、福音宣教をすることが出来ますように。(全)

司・父なる神よ、御子のははの執り成しによって、主イエスの栄光を祝う私たちを祝福してください。主キリストによって。全・アーメン

司・神よ、聖母マリアの取次ぎによって、貴方の光を称えるために集まった私たちを顧みてください。私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

奉納祈願

いつくしみ深い神よ、この供えものをささげて祈ります。天に上げられた聖母の取り次ぎを願うわたしたちが、いつもあなたを求め、愛することが出来ますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

アーメン。

拝領祈願

信じる者の喜びである神よ、いのちの糧を受けて祈ります。天に上げられた聖母マリアの取り次ぎを聞き入れ、わたしたちを復活の栄光に導いてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。